

事業成長を強く志向した長期ビジョン2020に基づき、小田急グループ各社において、以下のような成長施策が多数進捗いたしました。

テーマⅠ

沿線における複々線完成後のグループ収益を最大化する

複々線の完成および移動空間の価値向上



新型特急ロマンスカー・GSEの就役

沿線まちづくりの推進



海老名駅間地区(VINA GARDENS)開発計画

観光地の魅力向上・訪日外国人の誘引強化



小田急旅行センターのリニューアルオープン

テーマⅡ

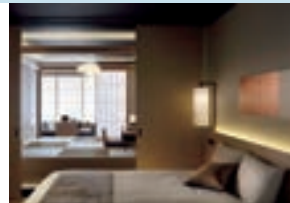
2020年度までに成長の種を蒔き育てる

既存事業の沿線外進出



ジローレストランシステムの新規業態 WISE SONS

ホテル事業の拡大



ホテルカンラ京都の増床リニューアルオープン

新規事業の開発、M&Aの活用



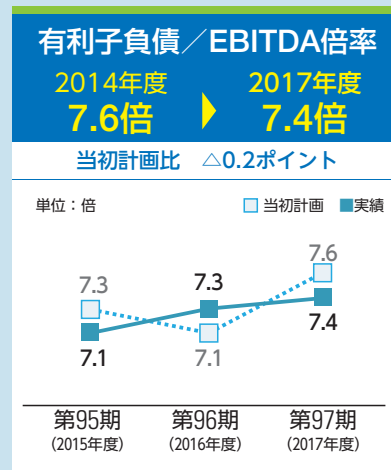
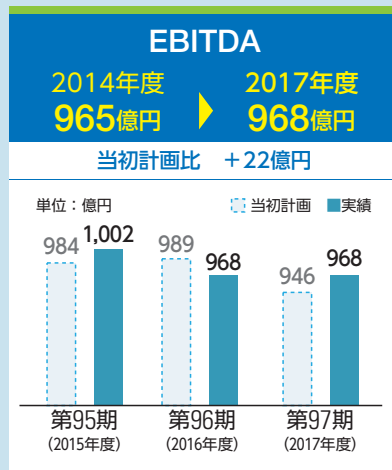
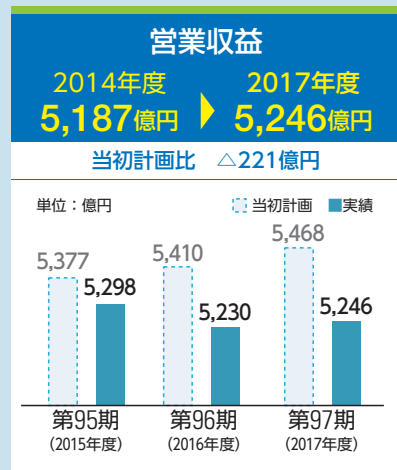
M&Aの推進(株白鳩・(株)ジェネリックコーポレーション)

また、事業環境の変化に対応するため、事業譲渡を実施いたしました。

- 保育事業
- 介護事業
- ホームセンター事業

連結数値目標の進捗

2020年度における目標として掲げた3つの指標については、営業収益は、事業譲渡等の影響により当初計画を下回りましたが、EBITDAおよび有利子負債／EBITDA倍率は、概ね当初計画どおり推移いたしました。



2018年3月に複々線化の完成および新たなダイヤによる運行を開始！

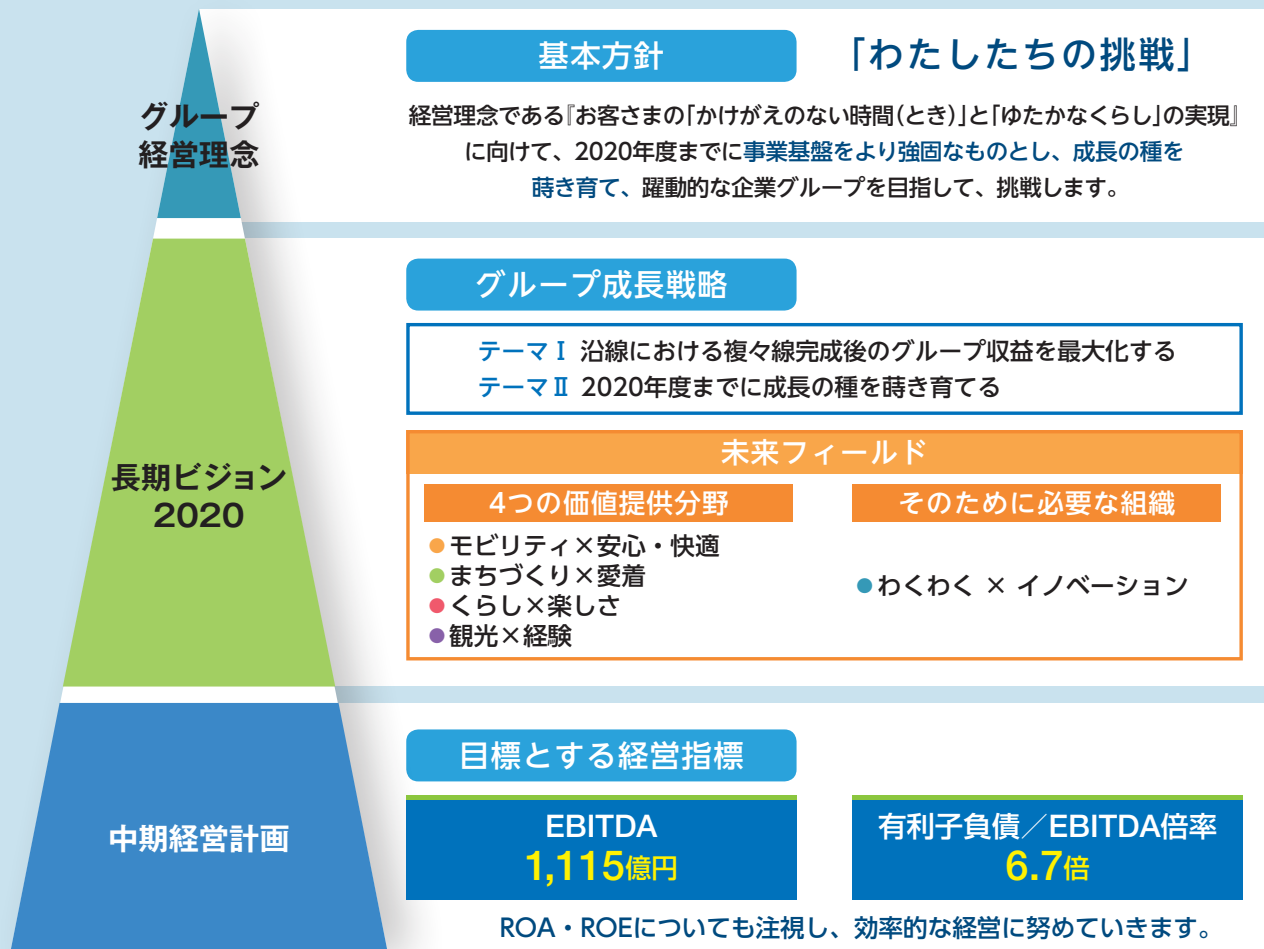


構想より約半世紀にわたり実施してきました複々線化がついに完成いたしました。朝方ラッシュ時間帯における混雑率は、これまでの190%程度の水準からダイヤ改正後は平均で150%台で推移しており、混雑に起因した遅延も少なくなっています。今後は、複々線効果を最大化するための各種施策に取り組んでいきます。

新たな中期経営計画(2018-2020年)の策定

少子高齢化やAI、IoTの進展等、事業環境の構造的変化により既存業態の陳腐化と新たな事業領域の形成が進んでおり、今後については技術革新が飛躍的に進むなど、事業環境の不確実性が加速度的に増していくと考えられます。

そのような中、変化に対応し躍動的な企業グループを目指していくためには、将来、社会やお客さまに対して提供していきたい価値を描き、それに近づくための挑戦を繰り返していくことが必要と考え、当社グループのありたい姿(4つの価値提供分野とそのために必要な組織)である「未来フィールド」を設定いたしました。



これからの3カ年で取り組むこと

モビリティ × 安心・快適

- 鉄道利用のさらなる増加を目指すとともに、強靱かつ柔軟な対応力の強化、先進的な技術による高度化&省力化を実現いたします
- 次世代テクノロジーを活かし、多様な交通モードのシームレスな連携による移動サービスを受できる生活を実現いたします

まちづくり × 愛着

- まちの個性や特徴を活かした沿線まちづくりの具現化に向けた投資や仕掛けづくりを進めます
- 当社線沿線内外において、組織能力を向上し、事業規模を拡大いたします

くらし × 楽しさ

- 顧客ニーズの多様化やEコマースの進展等、将来にわたり続く変化の中でも価値を提供する未来型商業へ変革いたします
- 当社線沿線での新規コンテンツの創出や地域の取り組みとの関係性強化を図り、沿線エリアへの誘客とまちの賑わいを創出いたします

観光 × 経験

- 地域ならではの魅力をプロデュースし、まちの価値を高めるホテルを出店いたします
- 旅行者や外部パートナーとの接点から得られるさまざまな情報・ノウハウを活用し、新たな商品・サービスを生み出します

わくわく × イノベーション

- 新規事業創造やイノベーションにつながる人材とアイデアを育てる仕組みを構築し、社員が夢を持ってチャレンジできる機会を生み出します
- 新たな価値創造やチャレンジの基盤として、社員一人ひとりの考え方や能力等を最大限に活かすために、ダイバーシティ、働き方改革をはじめとした、各種制度・環境整備を実施いたします